

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻 第 6 号

第 6 週 (2月2日 ~ 2月8日)

発行年月日:平成21年(2009年) 2月13日

発行 行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

インフルエンザウイルスB型の検出 インフルエンザの警報発令中

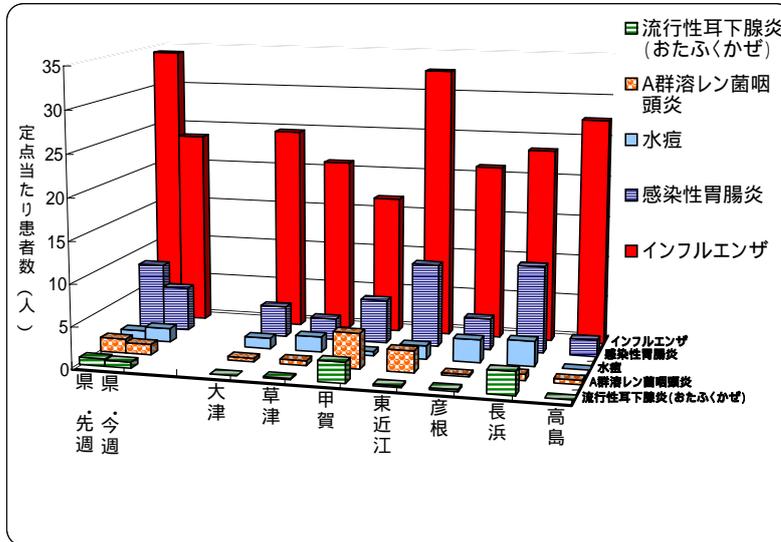
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週の報告数よりかなり少なくなっています。特にインフルエンザで先週の約30%減となっています。今週増加した疾患はRSウイルス感染症、水痘等で、減少した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

インフルエンザウイルスについては、平成21年1月10日から1月28日に採取された咽頭ぬぐい液から**インフルエンザウイルスB型**が検出されました。県内における今シーズンのインフルエンザウイルスB型の検出は今回が初めてであり、今後、県内において流行する可能性があるため感染予防に対する注意が必要です。なお、インフルエンザウイルスAソ連型(AH1型)およびインフルエンザウイルスA香港型(AH3型)についてはすでに検出されています。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報および注意報の発生状況については、インフルエンザおよびA群溶レン菌咽頭炎で警報発生基準値を超えている保健所管内があります(詳細については、今週の発生状況:滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況参照)。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で2名の届出がありました。

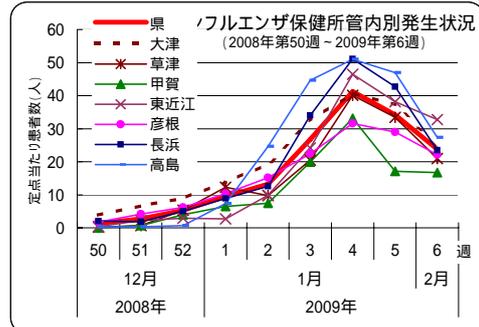
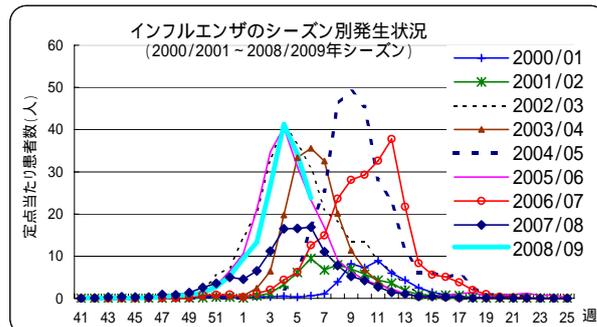
上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第6週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、インフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、A群溶レン菌咽頭炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の順に多くなっています。

インフルエンザは各保健所管内とも先週より減少しています。感染性胃腸炎は高島で先週より半減していますが、長浜でほぼ倍増しています。また、流行性耳下腺炎は長浜で急増しています。

インフルエンザの発生状況



1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (6週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (6週)	全国 (6週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	2	24	2,102	282	27,737
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	14	^(*) 3	318
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	60	53	4,307
四類感染症	A型肝炎	0	0	8	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	1	1	2
	デング熱	0	0	12	2	104
	マラリア	0	0	7	1	57
	レジオネラ症	0	0	78	10	884
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	89	10	861
	ウイルス性肝炎	1	1	16	5	236
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	12	2	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	12	1	11
	後天性免疫不全症候群	0	0	131	11	1,532
	ジアルジア症	0	0	5	1	75
	梅毒	0	0	63	5	823
	破傷風	0	0	5	5	120
	急性脳炎	0	0	34	1	182
	風しん ^(*)	0	0	15	2	303
	麻しん ^(*)	0	0	94	39	11,005

* 1: 平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第6週(2/2～2/8) -

一類感染症: 報告なし		四類感染症: E型肝炎	1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群	10例
二類感染症: 結核	322例	A型肝炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症	6例	レジオネラ症	9例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1例
細菌性赤痢	3例	五類感染症: アメーバ赤痢	7例	風しん	5例
四類感染症: デング熱	2例	梅毒	6例	麻しん	11例
マラリア	1例	急性脳炎	2例		

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第1～6週、H20.12.29～H21.2.8)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)					
	1週	2週	3週	4週	5週	6週
	12/29～	(1/5～)	(1/12～)	(1/19～)	(1/26～)	(2/2～)
インフルエンザ	9.44	13.28	26.72	41.22	34.19	23.74
RSウイルス感染症	0.36	0.55	0.45	0.52	0.15	0.18
咽頭結膜熱(プール熱)	0.06	0.03	0.06	0.21	0.27	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.21	0.52	1.00	1.58	1.70	1.27
感染性胃腸炎	3.91	9.36	7.09	6.97	8.09	5.33
水痘	1.70	3.76	1.48	2.39	1.18	1.67
手足口病	0.15	0.15	0.06	0.15	0.15	0
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0.03	0	0.03	0.03	0.06
突発性発しん	0.21	0.55	0.39	0.36	0.33	0.27
百日咳	0	0.06	0	0	0.06	0
ヘルパンギーナ	0	0	0.03	0	0.03	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.15	0.85	0.79	0.52	0.88	0.73
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0.25
流行性角結膜炎	0	0.13	0	0	0.25	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0.57	0.43	0	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0

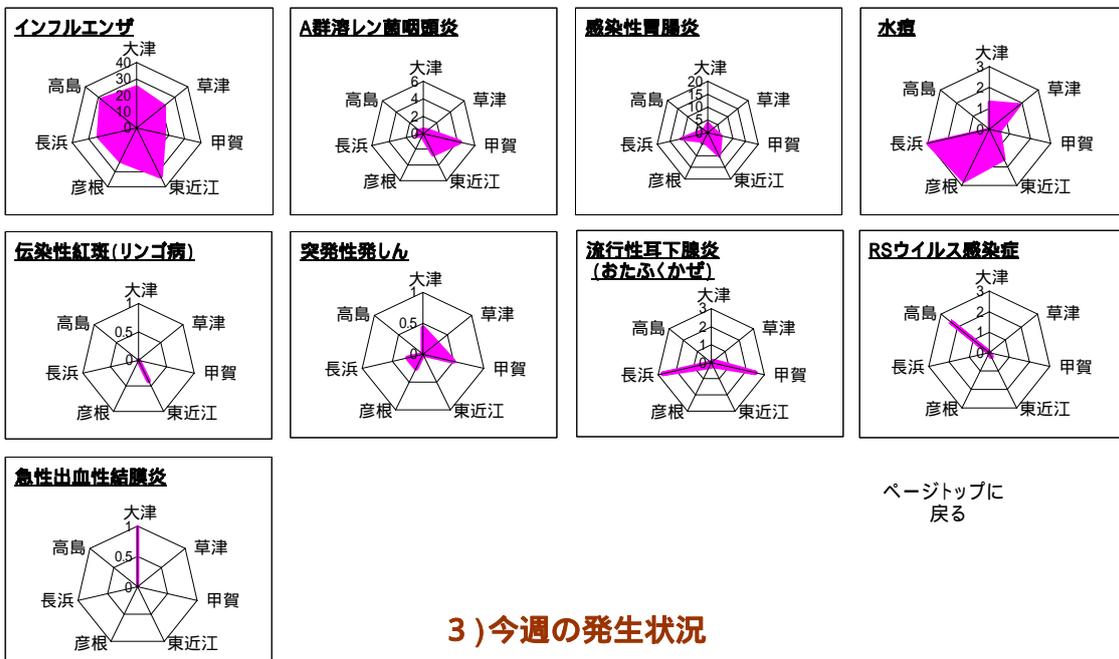
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第6週、2/2～2/8)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	23.74	24.64	21.00	16.71	32.75	22.14	23.43	27.33	
RSウイルス感染症	0.18	0	0	0	0.20	0	0	2.50	
咽頭結膜熱(プール熱)	0	0	0	0	0	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.27	0.43	0.57	4.25	2.60	0.25	0.75	0.50	
感染性胃腸炎	5.33	3.71	2.57	5.25	10.00	3.75	10.50	2.00	
水痘	1.67	1.29	1.86	0.50	1.60	2.75	3.00	0	
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0	0	0.40	0	0	0	
突発性発しん	0.27	0.43	0.29	0.50	0	0.25	0.25	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.73	0	0.14	2.50	0.20	0.25	2.75	0	
急性出血性結膜炎	0.25	1.00	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

0 5 10 15 20 25
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



3)今週の発生状況

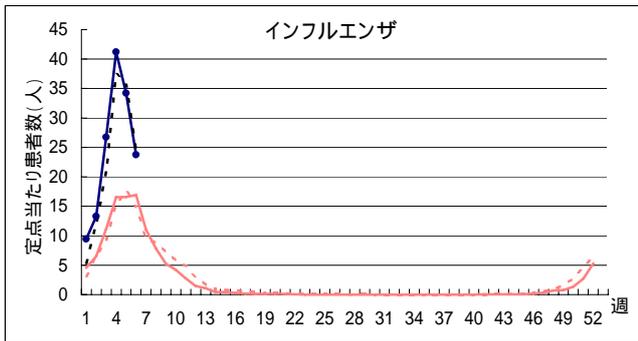
- インフルエンザ----- すべての保健所管内で警報終息基準値(10.00)以上となっており、県内全域に、警報の発令中です。
- A群溶レン菌咽頭炎----先週多かった東近江では半減していますが、甲賀では倍増しています。東近江では先週に引き続き警報終息基準値(2.00)を超え、甲賀では警報開始基準値(4.00)を越えています。
- 水痘-----草津、彦根および長浜で先週より増加し、特に長浜で急増しています。
- RSウイルス感染症-----高島からの報告が多くなっています。

滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況(平成21年第6週)

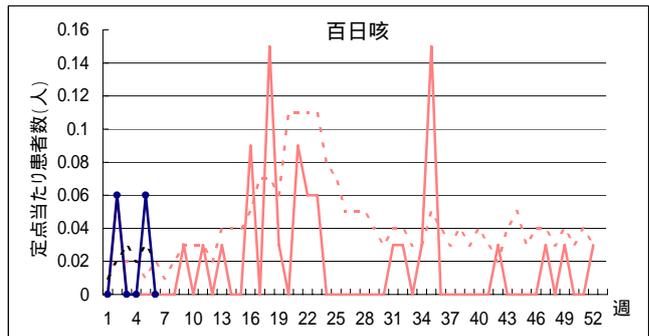
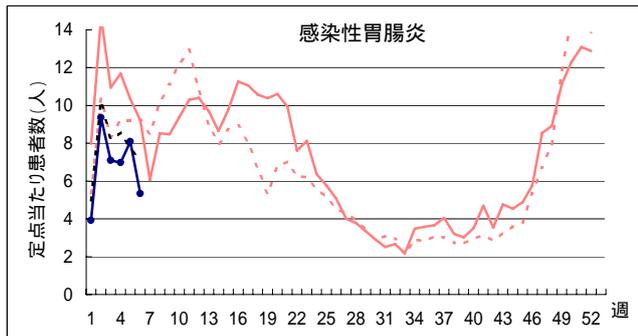
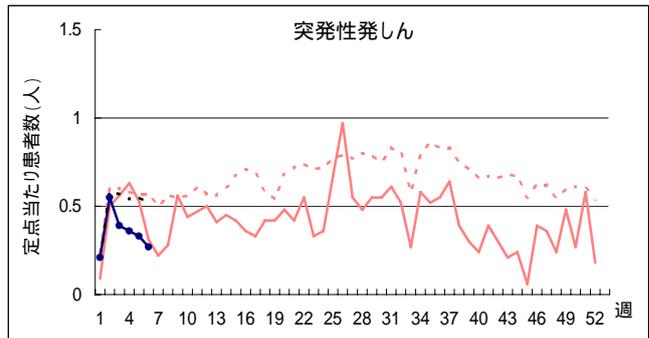
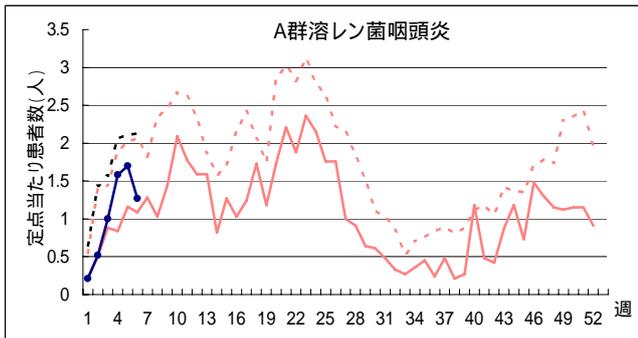
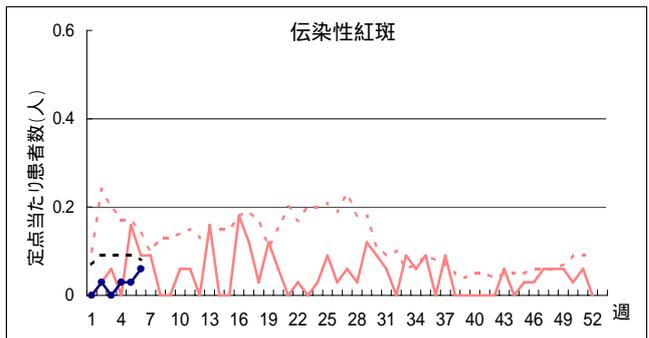
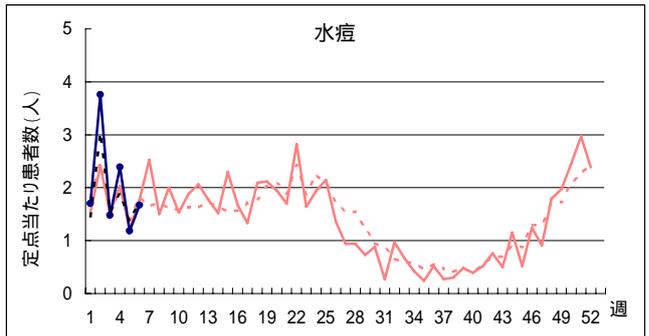
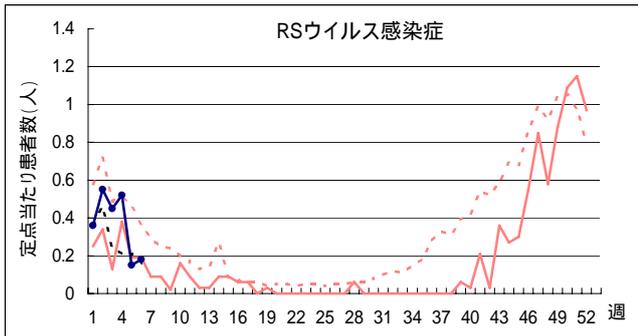
疾患名	県	保健所管内別							警報開始基準値	警報終息基準値	注意報発生基準値
		大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
インフルエンザ									30.00	10.00	10.00
定点当たり患者数(人)	23.74	24.64	21.00	16.71	32.75	22.14	23.43	27.33			
A群溶レン菌咽頭炎									4.00	2.00	-
定点当たり患者数(人)	1.27	0.43	0.57	4.25	2.60	0.25	0.75	0.50			

★ 警報開始基準値または警報終息基準値を超えています。 ★ 注意報発生基準値を超えています。
 * 基準値はすべて定点当たり患者数(人)です。 また、注意報の数字が入っていないものは、注意報の対象外という意味です。

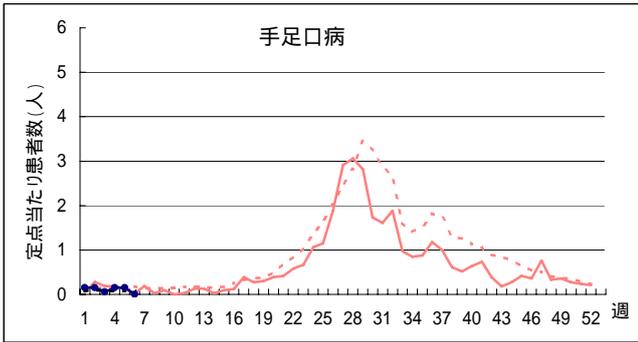
疾病別定点当たり患者数(平成21年第6週、H19.12.29~H21.2.8)



H20 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H21 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第6週、H19.12.29~H21.2.8)



H20
 { 滋賀 ————
 全国
 H21
 { 滋賀 ●●●●●
 全国

